

第1回以降の活動内容(ワークショップの開催)

資料1

基本計画に盛り込む個別施策・事業を検討するため、協議会委員および一般市民を対象としたワークショップを計3回実施した。毎回、対象とするエリアを設定し、各エリアで必要なこと、やりたいことについて、意見を出し合った。

第1回:

旧高田温泉あやめの湯の活用について



日 時:令和6年10月16日(水)
18:30~20:30
場 所:あやめ荘 2階会議室
参加者:7名

第2回:

伊佐須美神社周辺及び横町門前町通りの活用について



日 時:令和6年10月24日(木)
18:30~20:30
場 所:あやめ荘 2階会議室
参加者:8名

第3回:

旧公民館跡地及び高田駅周辺の活用について



日 時:令和6年11月12日(木)
18:30~20:30
場 所:町役場 2階大会議室
参加者:15名

■ワークショップにおける意見の概要

分類	項目	主な意見	詳細
1. ユーザーの目的地づくり ・集える場所をつくる ・楽しみをつくる	○旧あやめの湯の利活用 第 1 回 ワークショップ	【町提案】 <u>コンビニジムの誘致とコミュニティスペースの創出</u> →多額の改修費がかかることから旧あやめの湯は取り壊し、あやめ荘を利用してはどうか。 →壊す前に売却を再検討してもよい(養殖場など)。 →町民が求めている施設かどうか要検討。 ●子どもの遊びや子育て家族のための場 ●走るのが好きな人が多い(トリムコース)ので、ジムよりトレーニング施設 ●高齢者のリハビリ施設 ●誰もが気軽に利用できるコミュニティの場	・企業の誘致、大きな遊具、冬も遊べる
	○伊佐須美神社周辺 第 2 回 ワークショップ	【町提案】 <u>民間による物産交流施設の整備(町の製品の出口)</u> ●杜の駅(道の駅のような施設)の整備 ●飲食施設 ●梅林亭の活用 ●観光客が留まれる場所 ●足湯 ●伊佐須美の森～あやめ苑の楽しい散策 MAP をつくる	・キッチンカー(今はコーヒー屋あり) ・あやめ苑駐車場にカフェやテイクアウトの店とベンチ ・そば名人による週替わり出店 ・かき氷やコーヒーなどできるところから！ ・観光案内・物産販売 ・蛍など活用した夏の思い出づくり
	○横町門前町通り 第 2 回 ワークショップ	【町提案】 <u>まちなか拠点作り(エリアプラットフォームの拠点、みんなのハブ)</u> ●子どもの立ち寄り処 ●子育て世代向けにかじを切る(情報は子育て世代から) ●お年寄りのお茶のみ場所 ●夜間の飲食施設、宿泊施設 ●千葉書店にイベントや就労情報などの地域情報	・小4以上の居場所、中高生が勉強できる ・巨大遊具、カフェ(週末カフェ、セルフ、wifi、キッズスペース) ・夜イベント後に過ごせる(お金を落とせる)
	○国道 401 号線(大通り) 第 2 回 ワークショップ	【町提案】 <u>空き家、空き店舗活用の民間主体の活用</u> ●おしゃれなカフェ、ランチできる店 ●空き店舗を利用して、山側の人気店に出店してもらう ●チャレンジショップ ●町民が使える加工場、菓子製造ができる場所 ●伊佐須美神社～斎神社(西ノ宮)の動線づくり ●定期的なマルシェ ●お祭りの練習場、当日休憩所、反省会の場所 ●全てを商店街にもってくるのはどうか ●高校生、現在はローソンとの往復	・まち案内、ワークショップ、ミーティングも ・週 1 回まちなかで販売会(出店しやすく) ・タイムシェアスペース ・御朱印も販売 ・商店街は地元の人が人に会いに来るところ
	○旧公民館跡地の整備 第 3 回 ワークショップ	【町提案】 <u>広さを活かした世代を問わないコミュニティフリースペース</u> ●ここは高田の中心であり、ここに人を集めることが重要 ●人が集まって休む場所 ●集会所 ●お田植の時に馬が休んだり、人が休める場所 ●高齢者向けの運動教室を実施できる場所(健康遊具の設置) ●障がい者も楽しめる場所 ●子どもたちが遊べる場所 ●老若男女が使える ●総合福祉センター(子ども～高齢者)、子育て施設の整備 ●多目的に使える ●仮設建物を設置し、時代に合わせた形に変化させていく ●現状も空きスペースにせず、有効的に使うべき ●売却して宅地化し、若い人を呼び込む	・トレーラーハウス+ウッドデッキ、トイレ、駐車場 ・祭りやマルシェ等イベントへ対応 ・高齢化によりこのような場所が今後求められる ・外でも室内でも運動でき、自由に出入り出来る ・高齢者は子どもを見るのが嬉しい ・暫定利用や実証実験
	○会津高田駅周辺 第 3 回 ワークショップ	【町提案】 <u>玄関口として、トイレ、待合所の美化</u> ●只見線利用の観光客が町中に移動しお金を落とす流れ ●駅の最大のユーザーである高校生のスペースと仕組み	・駅+〇〇で複合的に民間活用、観光資源化 ・高校のボランティア団体の活動スペースや管理人の不在。 ・高校生が集まれば、お店が出来て次に違う新しいものが産まれる

分類	項目	主な意見	詳細
		●観光ツアーを作って仕掛けてみる ●イルミネーションは人気 ●待合等での展示企画もよい ●駅周辺は暗くて怖い、防犯は課題	・トレーラーハウスでも良いので、高校生をケアしてあげて欲しい(カフェなども併設) ・こうした仕掛けが重要
	○その他アイデア	●博士ちゃんを活かす(麻雀、味噌、妖怪) ●ニッチなニーズへの対応 ●高田の人は祭りが好き	・コスプレ、鉄道、会津の製造業の直場所
2. 面的な魅力づくり ・回遊したくなる環境・動線づくり	○空き家等を活用した環境づくり	●活用できそうな空き家等 ●レトロ建物等を活かし「映え」を意識した景観整備 ●古いトイレの改修、トイレの設置(伊佐須美、旧公民館跡地) ●まずは駐車場のことを考えてから施設を作る ●施設を建てるとイベント時の駐車場が不足 ●あまり使われていない駐車場にトレーラーハウスを設置 ●日陰、休めるところ	・紅葉館、美里蔵(内部の壁を除き大空間に) 駅周辺に活用できそうな建物あり ・建物前面の改修支援(例:伊勢・おかげ横丁) ・駐車場を分散すると人手が必要
	○拠点のネットワーク	●エリアプラットフォーム拠点と美里蔵の機能のすみ分け or 連携 ●機能の集約化(初期段階) ●まち全体マルシェと見立てる ●伊佐須美神社～まちなかをつなぐ駐車場 ●2030 年の伊佐須美神社再建に合わせて、それまでに人が回遊する工夫が必要(喫茶店や駐車場)。	・神社周辺に、エリアプラットフォーム拠点もカフェも集中 ・エリアプラットフォーム&物産 ・人が集まる場所でマルシェを定期的に開催 ・河川敷駐車場に止めた人が門前町まで歩く仕掛け(例:大内宿) ・奉納旗で動線
3. プレイヤーの支援 ・人づくり ・活動支援	○にぎわいづくり人材の創出	【町提案】マルシェで人材、推進チームをつくる ●【町提案】空き店舗等とプレイヤーのマッチング ●成り手は結構いる(出店希望を多く耳にする) ●起業したい人を集める ●タウンマネージャー(全体プランを考える人)が必要 ●広場のようなスペースを作るには管理する人が必要	・チャレンジショップ、特に体験型民泊と飲食 ・草刈り等管理はみなで協力できる
	○活動を後押しする支援の仕組みづくり	●【町提案】創業支援事業補助金の充実、拡充 ●開業サポートを目的としたシェアキッチン ●やりたい意思を具現化するための、てこ、人手、時間、お金事業として成り立たせるための土台づくり ●【町提案】伊佐須美エリアの都市計画を見直して商業施設等が進出しやすく ●【町提案】スタートアップ支援	・例:猪苗代・ななかまど食堂
4. 推進体制づくり ・活動を継続する仕組みづくり	○推進体制の構築、運営	●【町提案】民と町の連携による「エリアプラットフォーム」の構築、運営 ●エリアプラットフォームが自走するために町の仕事を委託 ●拠点維持、収益化の方法 ●限られたマンパワーなので、選択と集中が必要 ●町民の意識の向上が先決	・イベント運営だけでは厳しい ・ふるさと納税で利益を上げる ・高田梅酒(例:子ども誕生時に作り、二十歳まで保存) ・終活 ・シェアキッチンの仕組み ・またぎ体験 ・美里ブランドを作る！(認定、販売) ・ワインや日本酒をもっと前面に(例:酒屋でもっさり)

その他(コンサル意見)

○外部との連携、人材等の活用(姉妹都市などの有効活用)

○子どもの賑わいづくりへの参加

○データ収集、分析、活用

○空き家等の活用意向調査

○駅舎の拠点化(玄関口として、長期的に交通との連携)